

SSKP 船橋障害者自立生活センター

2021年3月

94

# うえいぶニュース

〒273-0004 船橋市南本町 8-25 ラックス船橋 TEL：047-432-4554/FAX：047-432-4565

URL： <http://www.cil-funabashi.org/> E-mail： [cil-funabashi@cil-funabashi.org](mailto:cil-funabashi@cil-funabashi.org)

## 感謝と感無量

前号で『歳末緊急カンパのお願い』をしました。あれから、たくさんの方々にご支援をいただきましたことを誠に感謝いたします。まだまだ財政状況は芳しくない状謡が続いておりますが、今年度は乗り切ることができます。

新型コロナウイルスの感染拡大が始まってから約1年。

2度の緊急事態宣言。

ようやくワクチンが摂取できる状態になりましたが、まだ自粛生活は続きそうですね。ただ、その中でもやれることを考えて行動しないと倒れます。

勘違いしていたことがあって、今のジリ貧状態で守りに徹していてもただ体力が削られて行くだけだとようやく気付きました。

次年度は何ができるかをよく考慮しながら、相談支援事業・福祉作業所以外のことをやりたいです。

さて話が変わりますが、福祉作業所開所以来初のご利用者様の一般就労が決まりました。本当に嬉しかったです。

彼は約12年もの期間をほぼ休まず通所してくれていました。職員側が休みと言わない限り。それは社会人としては当たり前という人もいるでしょうが、私はそれを当たり前などとは思いません。来たくない日もあったでしょう。さぼりたい日もあったでしょう。それでも来てくれていたのは、間違いなく彼の責任感が強かったからです。

とても尊敬しています。

「がんばれ」は言わないけど、いつも心の中では応援しています。

代表理事 小松直勝

## WAVE を利用するまでの経緯とその振り返り

初めにコロナ禍で皆様が大変な思いをされて、心よりお見舞い申し上げます。今回は WAVE を利用するまでの経緯とその振り返りをしてみました。

私は双極性障害を患っています。

双極性障害は自殺率が高く、私も希死念慮が高まり自殺未遂を起こしたことがあります。

回復するまで福祉作業所等を利用し社会復帰を目指していたところ、WAVE を知りました。選んだ理由は自宅から近く以前から気になっていたということからでした。「ふらっと船橋」様の協力もあり直ぐに通えるようになり、まず驚いたことは杉井さんとの出会いでした。

偶然にも同じマンションの住人で、お付き合いこそありませんでしたが雨の日でも電動車椅子で出かける姿を頻繁に見かけていて、とても印象的で知っていました。

次に自分が現代社会から、とても遅れをとっていることを感じました。

私は PC を使った作業等の経験がなく、高度な様について行けませんでした

そして、私は年齢のわりに思考や言動が幼稚で獲得してはならない知識や教養が備わっていない事に気付き、様々な点で経験が乏しく WAVE を通じて痛感し羞恥心さえ覚えました。

更に自分の資質では、その差を縮めることは出来ないと悟り、次第に自信が無くなり1年が過ぎたころには WAVE を辞める決心をしていました。

しかし、それでは自分から社会との繋がりを断ち切ってしまい孤立を選択してしまうことになりそうで出来ませんでした。

しばらくは無気力で何も出来ない複雑な感情を抱えながら通う日々が続き、そんなことを考えながらも通っているうちにあることに気付きました。

それは職員の方も障害者でありながら利用者さんへ接する姿でした。日々、業務に追われながらも職員の姿を見ていると自然と背筋を正される思いに駆られて、今まで見えていなかった事が見えてくるようになってきました。

自分の障害を理解してくれて、気に掛け話しを聞いてくれる方が直ぐ側に居る事がどれだけ恵まれていて、幸せなことか思い知らされました

自分が知りたかった情報端末のこと、何気ない雑談や家族にも話せない悩みまでを話せる様になりました。

今はまだ一般就労のめどは立っていませんが、WAVE に継続して通うことに専念しています。

職員の方や利用者さんと以前では予想もしていない程、親しくさせて頂いています。

心より感謝しております。

「人との繋がりが命をつなぐ」と WAVE を通して知りました。

「ふらっと船橋」様には色々とお世話になり、心より感謝いたしております。

コロナ禍でも WAVE を利用することが出来て気が紛れて助かりました。

ボン太郎

# 車椅子ジジイのぼやき・・・

## ～「終の棲家への遠い道のり」②～



近年、インターネットの不動産検索サイトも進化を遂げて、室内の様子も時には動画まで交えて居ながらにしてとても詳しく見ることができます。でも、建物の出入口に至るアプローチの状態や玄関から室内に上がる「框」の状態など、車いすで暮らす障害者にとってはある意味で最も重要な情報まではネットでは確認できません。それが第一の「落とし穴」でした。

結局、ネットなどで集めた家賃や間取りなどの情報を基にしてめぼしい物件を絞り込み、懇意の不動産屋さんに見に行ってもらって、「使えそうな」物件であれば私と妻で現場を見に行く、という気の遠くなるような作業を何度も繰り返すことになってしまいました。件の不動産屋さんには恐ろしく手間のかかる仕事を押し付ける形になってしまいました。でも、振り返ってみたときにそれ以外の方法がなかった、ということもまた現実です。上にも書いたように、インターネットにはたくさんの不動産に関する情報があふれています。しかしバリアフリーなどのキーワードはあるのですが、バリアフリーの中身についての情報がほとんど出ていません。したがって、Aという物件が私たちが望む条件を満たしているかどうかは実際に現場を見なければ誰にもわからない現実があります。

第二の「落とし穴」は賃貸物件の所有者であるオーナーまたは管理を担当する不動産会社の理解がどのくらい得られるか、という問題があります。

私たちが現場まで見に行き、室内の状況なども確認して、立地条件なども含めて更に入りにくい物件がありました。私たちは懇意の不動産屋さんにも具体的な入居手続きを進めてほしいという依頼をしました。ところが、管理会社を通じてオーナーに話が通じた途端に、先方から断りの連絡が来てしまいました。はっきりした理由はもちろんわかりませんが、どうやら車いすで住むので改造が必要なことや、建物に傷がついたりすることを心配して断りという回答になったようです。

そのようなケースはいくつか経験をしていてオーナーまで話が届く前に管理会社が断ってくるケースもありました。

つまり、私たちが家を探す場合に、物理的に入居ができるかどうか、という問題とは別にオーナーや管理会社などの関係する人たちの理解が得られるかどうかはかなり重要な問題であると感じています。

次回は、今住んでいる物件に決まった経緯や、住宅探しの在り方などを考えてみたいと思います。

杉井和男

## センターのうごき

<b>12月</b> 24日（木）障害者計画策定委員会 29日（水）～2021年1月3日（日） 年末年始休業	<b>2月</b> 2日（火）認定審査会 10日（水）フェイス相談日
<b>2021年1月</b> 13日（水）フェイス相談日 26日（火）認定審査会	<b>3月</b> 10日（水）フェイス相談日

### 会費納入のお願い

今年度の会費をまだお支払いいただけていない方、同封の振込用紙をご利用の上、お早めにご納入下さいますようお願いいたします。  
年会費は、正会員が3,000円、賛助会員が5,000円、団体が10,000円となっております。

同封の振替用紙について

この機関紙には全員の方に郵便振替用紙を同封させていただきました。これは会費、介助料、カンパなどを送っていただく際に、便利なように同封したものです。納入状況など、ご不明な点は事務局までお問い合わせください。  
なお、すでにお支払いいただいている方は、なにとぞご容赦ください

### カンパのお礼

以下の皆様より温かいカンパをいただきました。厚くお礼申し上げます。（順不同）

澤田 瑞穂 様    安達 マツ子 様    高根澤 秀子 様    竹内 正則 様  
北井 治 様    久保田 伸江 様    佐久間 良夫 様    増田 高子 様  
福元 高明 様    小島 純 様    佐藤 輝子 様    橋川 隆則 様  
杉井 みどり 様    匿名希望 様

発行所 東京都世田谷区祖師谷 3-1-17  
ヴェルドゥーラ祖師谷 102 号室

障害者団体定期刊行物協会  
頒価 100円